

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析および考察についてのお知らせ

晩秋の候、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果より、課題を分析および考察したものをとくに、今後の本校の教育活動についてお知らせ致します。

◇本校の課題と考えられる事項◇ ※全国平均のポイントよりもやや低い項目

国語

○基礎知識を問う問題から

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む。
- ・故事成語の意味と使い方を理解する。
- ・新聞の投書を読み、表現の仕方を捉える。
- ・話合いの観点に基づいて情報を関係付ける。

○活用力を問う問題から

- ・2つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉える。
- ・詩の解釈における着眼点の違いを捉える。

算数

○基礎知識を問う問題から

- ・小数第1位までの減法の計算をすることができる。
- ・減法と乗法の混合した整数の計算をすることができる。
- ・割合が1より小さい場合でも、比較量の求め方が(基準量)×(割合)なることを理解している。
- ・分数の相等及び大小について理解している。
- ・立体図形とその見取図の辺や面のつながりや位置関係について理解している。
- ・四則の混合した式の意味について理解している。

○活用力を問う問題から

- ・示された計算のきまりを基に、異なる数値の場合でも工夫して計算する方法を記述できる。
- ・示された情報を基に、条件に合う時間を求めることができる。
- ・示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を記述できる。

質問紙調査(学習・生活環境のアンケート)

※全国平均のポイントよりもやや低い項目

- ・自分に自信がもてず、自己肯定感が低い児童が全体の30%
- ・将来の夢や希望がもてていない児童の割合が全体の20%
- ・決められた宿題はできるが、学校の予習や復習をする習慣があまりない。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきか、視野を広げて考えることがあまりない。
- ・好んで読書する習慣があまりない。
- ・算数の学習で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えるまでに至っていない。

以上の事項を踏まえた本校の課題

- 基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着
- 多面的に捉えて、論理的に思考を深めていく力の育成
- 自己の成長を自他共に認め合い、自己肯定感を育む指導の充実
- さらによりよい自分にしていこうとする心の高揚

◇学校として力を入れたいこと

- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得(授業の終末段階での習熟の時間の確保, 計算・漢字テスト, 検定テストと追試テストでの見届け, CRT学力検査実施など)
- ・考えの過程を大切にしたいノートづくりと話合い活動(根拠をもとに自分の考えを的確に記述, 仲間との交流の場の設定)
- ・一人ひとりを大切に, 共に支え合い, 高まり合う学級経営を推進(よさみつけ, よさを価値付ける掲示, あったか言葉キャンペーン, あいさつ運動の推進, 心のアンケート, 教育相談, など)
- ・異年齢集団での活動を仕組み, 弱い立場の子に対する思いやりの心を養う(わかたけ遠足, わかたけ活動, わかたけ掃除, 集会活動, 学級遊びなど)
- ・家庭学習の内容の吟味(プリント活用, 既習学習の復習, 新聞記事活用, 故事成語・ことわざ・言葉の意味調べなど)

◇家庭で大切にしていきたいこと

- ・「早寝, 早起き, 朝ご飯, 朝うんち」の基本的な生活習慣づくり
- ・学習時間の確保と学習の見届け(ノートの点検, 励ましの声かけ, 家庭学習のポスターの見届け)
- ・将来の夢や目標, 就きたい仕事等を話題にした話をしていく
- ・コミュニケーションの時間の確保(会話, ふれあい, 親子読書, 町図書館の利用など)
- ・やりきったこと, 乗り越えたこと, 小さな成功体験の価値付け(学習面・生活面ともに)